

# 大阪柔整だより

## — 新年あけましておめでとうございます —

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、本会事業にご理解ご協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

さて、急速な高齢化が進展する中、府民の医療や健康に対するニーズは多様化し、その基盤となる地域医療の果たすべき役割は年々大きくなっています。

そういった医療社会情勢の中で、国家資格である柔道整復師が地域において活躍し、生き残るためには、安全かつ良質な医療を提供できなければなりません。

そのためには、学術・技術の研鑽に取り組み、学術大会や多くの研修会等で 10 年後を見据えて学ぶことが重要であります。

本会では、公益事業として会員の先生方の協力を得ながら、年間約 400 を超える救護事業等に取り組み、昨年大阪マラソンでは 800 人のランナーをサポートいたしました。

そして、それらのデータをもとに分析研究し、府民に還元できるよう学会等で報告させていただきました。

また、今後の地域包括ケアシステムを視野に入れ、大きく変化していく地域医療を担える人材を育成するため、幅広い知識と経験のある教員を擁し、少人数制で全人的教育を掲げ、大阪府柔道整復師会専門学校を運営しておりますが、国は新卒者の施術について質の低下を懸念し、臨床実習の充実等を求める要望があることから、指定基準等を見直すための「柔道整復師学校養成施設カリキュラム改善検討会」を立ち上げ、検討を開始いたしました。

教育制度の改革は、総単位数の引き上げや最低履修時間数、臨床実習のあり方等、業界が質の向上のために、言い換えれば国民のために強く要望し続けてきたものが、厚生労働省医政局において動き始めたわけです。

医療関係者として、教育年限は最低 4 年制でなければならないと考えております。

まして、医療保険財源の一部である療養費を取り扱う柔道整復師は、今以上の信頼を得るために生涯教育はさらに充実したものが求められる時代であります。

少子高齢化によって社会保障にかかる制度改革は、財政面から見ても逼迫した重要な問題として取り組んでいかなければならず、柔道整復療養費についても例外ではありません。

次頁へ続く

前頁より

府民が納める大切な保険料は限りある保険医療財源であり、療養費の適正な取り扱いが本会の公益事業であります。

柔道整復師の療養費は受領委任払いという特例的な取り扱いであり、患者、保険者、柔道整復師の信頼関係のうえに成り立つものであります。

また、国家資格の中に「柔道」という日本古来のスポーツの名称があるのは他に例のないものです。今一度、「精力善用 自他共栄」の意味を皆様とともに考え、「学ぶ」ことを重んじ、公益社団法人の責務を果たして参る所存でございます。

本年も本会は、会員の先生方の協力を得ながら、大阪府民の皆様が健康で活力ある日々を送っていただけるようスポーツ選手のサポートやコンディショニング等のニーズに応え、医療、介護、福祉の分野でお手伝いをして参りますので、何卒、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 大阪府柔道整復師会 会長 安田 剛

## 平成28年 新年交歓会 開催



平成28年1月10日(日)午後5時より、ホテルグランヴィア大阪20階「名庭の間」において、公益社団法人 大阪府柔道整復師会新年交歓会が盛大かつ華やかに開催された。

新春にふさわしい穏やかな陽気に包まれた中、国会議員(17名)、府議会議員(17名)、市議会議員(18名)、東大阪市長、堺市長、吹田市長、泉佐野市長、寝屋川市長、一般社団法人 大阪府薬剤師会 会長をはじめ、関係団体代表など御来賓150名の御臨席を賜り、会員を含め総勢330名が参集した。

各界より、大阪府知事 松井 一郎 様(ご名代 大阪府副知事 植田 浩 様)、厚生労働省

近畿厚生局長 丸山 浩 様、一般社団法人 大阪府医師会会長 伯井 俊明 様(ご名代 副会長 中尾 正俊 様)、公益社団法人 日本柔道整復師会 会長 工藤 鉄男 様から、今後の本会の発展を期する御祝辞を賜り、一般社団法人 大阪府薬剤師会 会長 藤垣 哲彦 様の乾杯の発声にて、宴、開催となった。

毎年、年始に行われるこの新年交歓会は、業界の展望や現在の状況などを知ることができ、管轄の市長や代議士の先生らとの情報交換や交流を深める良い機会である。

また、新年交歓会を通じて久しぶりに会った先生方と話が弾み、良い刺激になったと思う。

これからも、新年交歓会のみならず様々な行事に参加し、多くの方々と接することで情報共有し、各々が自我研鑽することで、業界発展のために一丸となり協力していくことが必要であると感じた。

公益社団法人 大阪府柔道整復師会  
広報部

## 介護保険のコラム Vol.10

### 「スマートライフプロジェクト」に参画しました

本会は、厚生労働省主催「スマートライフプロジェクト」へ参画を行う事となりました。

平成 23 年度より始まった「スマートライフプロジェクト」は、「健康寿命をのばしましょう」をスローガンに、多くの人々の健康づくりの意識を高め、行動を変えるよう働きかけることで国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく毎日が送れることを目標とした厚生労働省の国民運動です。

このプロジェクトの趣旨に賛同する企業・団体が、社員や職員の健康意識向上につながる啓発活動を行い、また、企業活動を通じて「運動」・「食生活」・「禁煙」の 3 分野を中心に具体的なアクションの呼びかけを行っています。

本会では、「運動」分野において健康増進・高齢者介護予防の活動を行っており、昨年 12 月に「大阪マラソン救護活動」「高石市介護予防教室」「東大阪市近大前商店街介護予防教室」が「スマートライフプロジェクト」のホームページに掲載されました。その後も順次、各支部の活動が掲載されております。

今後も、各支部で活動されている健康まつりや救護活動等の活動報告を行ってまいりますので、記事や活動風景の写真提供等ご協力をよろしくお願いいたします。

「スマートライフプロジェクト」URL : <http://smartlife.go.jp/>

※本会HP「トップページ」→「リンク集(画面最下段)」→「スマートライフプロジェクト」より閲覧可能です。

柔整介護ステーション 管理者 竹川朋典

### 「平成 28 年 大阪保険講演会」開催のお知らせ

下記日程にて、「平成 28 年 大阪保険講演会」を開催致します。

日 時：平成 28 年 3 月 26 日（土）16 時 開会

場 所：大阪柔整会館 5 階大ホール

参加費：無 料

※詳細は決まり次第、お知らせいたします。

どなたでもご参加頂けます。多数のご参加をお待ちしております。

## 保険者変更通知

変更前	内容	変更後	変更日
神奈川トヨタ健康保険組合 06141451	名称変更	KTグループ健康保険組合 06141451	H28年1月6日
P&Gグループ健康保険組合 06281588	移 転	P&Gグループ健康保険組合 06273833	H28年4月1日

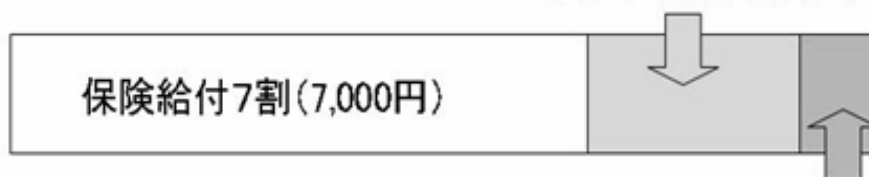
## 大阪府福祉医療費助成制度の適正な運用について

障害者やひとり親家庭などの方々に対して実施している福祉医療費助成制度は府・市町村の地方単独事業です。

例えば医療費1ヶ月10,000円要した場合(保険3割負担の方)

○福祉医療費助成を使用した場合

福祉医療費助成(2,000円)



患者負担1,000円(上限)

○原爆の公費負担制度を使用した場合

※福祉医療費助成制度は、国の公費負担者制度等の資格を有する方は、国の公費負担制度等(例えば原爆や水俣病の公費負担制度)を優先使用していただくこととなっています。



この場合、患者さんの窓口負担は生じません。

障害者や一人親家庭の方々に対し実施している福祉医療費助成制度は、府・市町村の地方単独事業であります。

福祉医療費助成制度の資格を有する患者さんの負担については、上記に示す様なイメージとなっております。

また、患者さんが国の公費負担制度等の資格をお持ちの場合は、この公費負担制度等を優先することとなっておりますので、お間違いのない様をお願いします。